

診療用放射線照射器具設置届

年 月 日

（宛先）奈良市保健所長

管 理 者 氏 名

次のとおり診療用放射線照射器具を設置するので、医療法第15条第3項（医療法施行規則第27条第1項又は第2項）の規定により届け出ます。

施設	名称	(開設者名 :)
	所在地	〒 電話 ()
使用開始予定日	年 月 日	

- I 概要
- II 診療用放射線照射器具
- III 診療用放射線照射器具使用室等
- IV 貯蔵施設等
- V 運搬容器
- VI 診療用放射線照射器具使用者
- VII 放射線治療病室等

添付書類

- 1 診療用放射線照射器具使用室等の詳細図（管理区域を明示し、隣接室名、上下階の室名、線源と画壁との距離、画壁の鉛当量並びに管理区域の標識、使用中の表示及び注意事項の標識の掲示した位置等が明記されたもの）
- 2 診療用放射線照射器具使用室等線量測定結果（使用条件等記載）等
- 3 遮蔽計算式

I 概要

種 類	販 売 元	使用室名	備 考

II 診療用放射線照射器具

診療用放射線照射器具	型 式			
	個 数			
	装 備 する 放 射 性 同 位 元 素 の 種 類			
	装 備 する 放 射 性 同 位 元 素 の 数 量	Bq	Bq	Bq
	物 理 的 半 減 期			
	本 年 使 用 予 定 数 量	Bq	Bq	Bq
	最 大 貯 蔵 予 定 数 量	Bq	Bq	Bq
	1 日 最 大 使 用 予 定 数 量	Bq	Bq	Bq

III 診療用放射線照射器具使用室等

使用室等の障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要	室 名 (保 管 場 所)			
	主 要 構 造 部 等		耐火構造・不燃材料・その他 ()	
	周囲の 画壁等 (構造 材料 厚さ)	天 井		
		床		
		周 囲 の 画 壁		
		出 入 り 口 の 扉		
	そ の 他 の 開 口 部		有 () ・ 無	
	防 護 省 略 の 部 分		有 ・ 無	
	画 壁 等 の 外 側 に お ける 実 効 線 量		1.0 mSv / 週 以下 ・ 超	
	常 時 出 入 り する 出 入 口		箇所	
	使 用 室 である 旨 を 示 す 標 識		有 (別添図面のとおり) ・ 無	
	放射線障害防止に必要な注意事項の掲示		患 者 注 意	有 (別添図面のとおり) ・ 無
			従 事 者 注 意	有 (別添図面のとおり) ・ 無
	管理 区域	管 理 区 域 の 場 所		別 添 図 面 の と お り
		管 理 区 域 である 旨 を 示 す 標 識		有 (別添図面のとおり) ・ 無
		境 界 に お ける 実 効 線 量		1.3 mSv / 3 月 以下 ・ 超
		立 入 制 限 措 置		有 (別添図面のとおり) ・ 無
	敷 地 内 居 住 区 域 及 び 敷 地 境 界 の 実 効 線 量		250 μSv / 3 月 以下 ・ 超	
	入 院 患 者 の 被 ば く 防 止 措 置		1.3 mSv / 3 月 以下 ・ 超	
	被 ば く 防 止 に 関 する 措 置			
放 射 線 診 療 従 事 者 等 の 被 ば く 線 量 測 定 器				
使用場所の制限		特 別 な 理 由		
		管 理 体 制	管 理 責 任 者	職 種
			氏 名	
		管 理 体 制 を 明 確 に する 組 織 図		有 (別紙のとおり) ・ 無
紛 失 防 止 の 設 備				

IV 貯蔵施設等

貯蔵施設等の障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要	貯蔵方法		貯蔵室・貯蔵箱	
	貯蔵室又は貯蔵箱の場所		別添図面のとおり	
	貯蔵施設の画壁等 (構造材料厚さ)	主要構造部分等	耐火(性)構造・その他()	
		天井		
		床		
		周囲の画壁		
		防火戸	適・不適(理由:)	
	貯蔵施設の外側における実効線量		1.0mSv/週 以下・超(理由:)	
	出入口		箇所	
	扉、ふた等外部に通じる部分の閉鎖設備		有(かぎ・その他〔 〕)・無	
	貯蔵施設である旨を示す標識		有・無	
	貯蔵容器	貯蔵容器の備え付けの有無	有・無(理由:)	
		1mの距離における実効線量率	100 μ Sv / 時 以下・超	
		貯蔵容器である旨を示す標識	有・無	
		放射性同位元素の種類と数量の表示	有・無	
	汚染のひろがり防止する措置		有(受皿・吸収材・その他〔 〕)・無	
	放射線障害防止に必要な注意事項の掲示		患者注意	有(別添図面のとおり)・無
			従事者注意	有(別添図面のとおり)・無
	管理区域	管理区域の場所		別添図面のとおり
		管理区域である旨を示す標識		有(別添図面のとおり)・無
境界における実効線量		1.3 m Sv / 3 月 以下・超		
立入制限措置		有(別添図面のとおり)・無		
敷地内居住区域及び敷地境界の実効線量		250 μ Sv / 3 月 以下・超		
入院患者の被ばく防止措置		1.3 m Sv / 3 月 以下・超		
被ばく防止に関する措置				
放射線診療従事者等の被ばく線量測定器				

V 運搬容器

運搬容器の障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要	運搬容器の備え付けの有無	有・無(理由:)
	1mの距離における実効線量率	100 μ Sv / 時 以下・超
	運搬容器である旨を示す標識	有・無
	放射性同位元素の種類と数量の表示	有・無

VI 診療用放射線照射器具使用者

氏名 (生年月日)	職種	放射線診療に関する経歴 (資格取得年月日及び免許証番号等)

VII 放射線治療病室等

放射線治療病室等の障害防止に関する構造設備及び予防措置の概要	治療病室の外側の実効線量		1.0 mSv / 週 以下・超	
	治療病室である旨を示す標識		有(別添図面のとおり)・無	
	治療病室の画壁等	構造	天井	適・不適
			床	適・不適
			周囲の画壁	適・不適
	治療病室の画壁等	材料	天井	適・不適
			床	適・不適
			周囲の画壁	適・不適
	病室の床数		床	
	放射線障害防止に必要な注意事項の掲示		患者注意	有(別添図面のとおり)・無
			従事者注意	有(別添図面のとおり)・無
	管理区域	管理区域の場所		別添図面のとおり
		管理区域である旨を示す標識		有(別添図面のとおり)・無
		境界における実効線量		1.3 mSv / 3月 以下・超
		立入制限措置		有(別添図面のとおり)・無
敷地内居住区域及び敷地境界の実効線量		250 μSv / 3月 以下・超		
入院患者の被ばく防止措置		1.3 mSv / 3月 以下・超		
被ばく防止に関する措置				
放射線診療従事者等の被ばく線量測定器				